

森林・林業体験を通して、林業の可能性を探る！～飯高滞在4日間コース～

(叶林業合名会社／三重県)

事業の目的

林業に関心のある女性が林業に関する知識を深めるための体験会を実施。参加者が林業の体験や山村地域での滞在経験を通して、自然や林業、地域への理解を深め、今後の活動に活かしていくことを目的とする。また、参加者とのコミュニケーションの中で、世代を超えて新たな考え方に触れる等、さまざまな意見交換が生まれる場にする 것도期待し、実施しました。

事業の内容

- 1日目『オリエンテーション』
森林見学、地形に関する座学
- 2日目『林内実習』
選木調査、伐倒体験、作業道開設見学
- 3日目『森林環境教育ほか』
作業車メンテナンス、木材加工、森林環境教育に関するフィールドワーク
- 4日目『森林環境教育 アシスタント』
小学5年生への出前授業、意見交換会

- ・日常業務に同行し、見学だけではなく、作業を実際に体験してもらう。作業のひとつひとつの背景や意味を伝えながら、双方コミュニケーションを意識し、取り組みました。
- ・林業従事者であれば、日常的に求められる軽作業（車のメンテナンスなど）についても一緒に取り組んでもらう。電動工具だけではなく、あえて昔ながらの道具を使って作業をしてもらうなど、自ら考え工夫する仕組みを意識しました。
- ・最終日には、森林教育活動の一環として行っている小学校への出前授業に同行してもらう。小学5年生との交流しながら、林業の多岐にわたる仕事内容への理解を深めてもらいました。

参加人数

計4日間を通して、大学生2名が参加。

活動の様子



《林内実習》寸検の方法、選木の基準、チェーンソーの取り扱いを教わり、収穫の流れまでを体験。一人1本の伐倒に挑戦し、間伐後の密度変化を確認する様子はどこか誇らしげです。



《作業道開設》重機による道づくりについて見学し、仕事師さんへのインタビューも実施。林業という職業を選択した経緯、飯高町での暮らしのことなど、普段社内では聞かないようなお話を引き出してくれました。



《森林環境教育》出前授業で用いる山の素材の採取に同行し、森林のはたらきについて、見て、触れて、体感します。出前授業本番では、見学にとどまらず、「子どもたちへ伝える」という大切な役割にも参加してもらいました。